

各 位

平成 21 年 10 月 14 日  
株式会社アルバイトタイムス  
(証券コード: 2341)  
(URL: <http://www.atimes.co.jp>)  
代表取締役社長 垣内 康晴

## 平成 22 年 2 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異(連結・個別) 及び通期業績予想の修正(連結・個別)に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 9 月 17 日に公表しました平成 22 年 2 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正(連結・個別)との差異及び平成 21 年 4 月 9 日に公表しました平成 22 年 2 月期通期業績予想(連結・個別)を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 平成 22 年 2 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期連結累計期間(平成 21 年 3 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回予想(A)	1,750	△1,160	△1,156	△1,219	△36 円 25 銭
今回修正(B)	1,750	△1,384	△1,383	△1,510	△44 円 89 銭
増減額(B-A)	0	△223	△226	△290	—
増 減 率	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 2 月期第 2 四半期)	4,831	△371	△360	△349	△10 円 09 銭

(注)平成 21 年 9 月 17 日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において、売上高のみを修正開示しております。

### (2) 差異理由

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産において持ち直しの動きが見られるものの、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在していることから、企業収益の悪化・設備投資の大幅な減少等に見受けられるように、依然として厳しい状況にあります。このような経済状況下における当社グループの事業を取り巻く環境は、完全失業率及び有効求人倍率は共に過去最悪の水準で推移するなど、雇用情勢は非常に厳しい状況にあり、多くの企業では人件費や採用費を大幅に削減する動きが見られました。

このような環境の下、当社グループでは「求職者の役に立つ情報」「顧客にとって費用対効果の高いサービス」を提供していくことを目指し、求人広告関連事業にとどまらない取組みを進めてまいりました。

『DOMO(ドーマ)』『DOMO NET(ドーマネット)』においては、求人広告の掲載だけでなく求職者・顧客に喜ばれる新しい商品・サービスの提供を行い、収益機会の拡大を図りました。具体的には、『DOMO』『DOMO NET』

への SP 広告の掲載、『DOMO NET』の単独販売の開始、そして静岡地域では合同企業ガイダンスを行うなど、既存の資源を活用しながら既存事業との相乗効果が期待できる取組みを実施しました。

次に採用支援サービス事業では、6月にアルバイト・パートの人材紹介サービスをスタートしました。

一方、コスト面につきましては、印刷費、人件費、広告宣伝費、流通費、地代家賃等のコスト削減を進め、収益構造の改善を図りました。

売上原価は、売上高の減少及び印刷費の見直しによる減少等により、950 百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、業務の見直しによる人件費の減少、広告宣伝費の削減、設置先の合理化に伴う流通費の削減、第1四半期連結会計期間における事業所の移転に伴う地代家賃の減少等により、2,184 百万円となりました。

特別損失は、事業所の移転やシステムの合理化に伴う固定資産除却損及び固定資産臨時償却費を計上したことにより、117 百万円となりました。

以上の施策を実施したものの、雇用情勢が想定以上に悪化したことにより求人広告市場が大幅に縮小したため、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、平成 21 年9月 17 日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、売上高は 1,750 百万円となりました。

利益面につきましては、コスト削減を進め収益構造の改善を図ったものの売上高の減少をカバーするには至らず、営業損益が 1,384 百万円の損失、経常損益が 1,383 百万円の損失、四半期純損益が 1,510 百万円の損失となりました。

## (求人情報誌発行)

当社グループの主力事業である『DOMO』の売上高は、1,306 百万円となりました。前連結会計年度から引き続き、当社グループの主要顧客である人材サービス企業及び製造業からの出稿には依然回復の兆しは見られず、また、飲食・販売・サービス業を含む幅広い業種においても求人意欲は低いため、総じて求人広告掲載件数が減少いたしました。また、有効求人倍率が低水準で推移しているため企業が人材を確保しやすい環境であることから、求人広告掲載件数が減少し、求人広告市場は大幅に縮小しております。

その結果、首都圏版は 280 百万円、千葉・船橋・習志野版は 26 百万円、横浜版は 68 百万円、静岡3版は 650 百万円、名古屋版は 183 百万円、大阪版は 97 百万円となり、全版において売上高が大幅に減少いたしました。

## (求人情報サイト運営・販売)

求人情報サイト運営・販売事業につきましては、『DOMO NET』におけるタイプアップ販売やバナー広告の販売、及び『DOMO NET』の単独販売や SP 広告の販売、並びに当社 100%子会社である株式会社 NNC が取り扱う『Jobee(ジョビー) by 正社員 JOB』の販売により、求人情報サイト運営・販売の売上高は 48 百万円となりました。

## (フリーペーパー取次事業)

株式会社リンクが行うフリーペーパー取次事業につきましては、設置先の合理化を進めたものの、大手版元が地方から撤退したことが影響し、売上高は 393 百万円となりました。

---

お問合せ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300



(3) 通期(平成 21 年3月1日～平成 22 年2月 28 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想(A)	5,595	△904	△895	△984	△29 円 27 銭
今回修正(B)	3,200	△2,119	△2,100	△2,496	△74 円 21 銭
増減額(B-A)	△2,394	△1,215	△1,205	△1,511	—
増 減 率	△42.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 2 月 期)	8,413	△998	△1,049	△1,330	△38 円 86 銭

#### (4) 修正理由

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業を取り巻く環境は、雇用情勢の悪化等に見受けられるように依然として厳しい状況が続いており、幅広い業種において人件費・採用費を大幅に削減する動きが見られること、また、完全失業率及び有効求人倍率は共に過去最悪の水準で推移しているため企業が人材を確保しやすい環境であることから、求人広告掲載件数が減少し、求人広告市場は大幅に縮小しております。

当社グループは、収益機会の拡大に向けた施策の検討を行うとともに、経費の削減にも努めてまいりました。しかしながら、経営環境が一層厳しくなると危惧される中で、収益機会の拡大に向けた施策については引き続き検討を行ってはいるものの、より一層の経費の削減が必要であるとの判断から、下記記載の施策を実施することとしました。

##### (a) 人件費の圧縮

役員報酬の減額及び従業員賞与の不支給、希望退職者の募集による社員数の減員、臨時従業員の削減等による人件費の削減

##### (b) 印刷費・流通費の削減

『maido DOMO(マイド・ドーモ)』、『DOMO』横浜版、『DOMO』千葉・船橋・習志野版の『DOMO』首都圏版への統合、及び『DOMO』大阪版を休刊することによる印刷費及び流通費の削減、また設置先の合理化による流通費の削減

##### (c) 事業所の移転及び統廃合による固定費の削減

事業所の移転及び統廃合を実施することによる賃料や維持管理費用の削減

##### (d) 保守料の削減

システムの合理化による保守料の削減

以上の施策を実施するものの、当第2四半期における当社グループの事業を取り巻く環境が今後も継続すると見られ、通期の連結業績につきましては、売上高が期初予想に対して 42.8%減の 3,200 百万円となる見込みです。利益面につきましては、上記(a)～(d)の施策について取組むものの、売上高の減少をカバーすることが非常に厳しいと見られ、営業損益が同 1,215 百万円減の 2,119 百万円の損失、経常損益が同 1,205 百万円減の 2,100 百万円の損失となる見込みです。また、希望退職者募集に関する応募者数は現時点において未確定であります。計画通り応募があった場合、第3四半期連結会計期間に特別損失として特別退職一時金約2億円を計上する予定であることから、当期純損益が同 1,511 百万円減の 2,496 百万円の損失となる見込みです。

お問合せ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300



## 2. 平成 22 年 2 月 期 個別業績予想の修正等

### (1) 第 2 四半期累計期間(平成 21 年 3 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	1,353	△1,160	△1,150	△1,199	△35 円 65 銭
今回修正(B)	1,353	△1,362	△1,339	△1,458	△43 円 36 銭
増減額(B-A)	0	△202	△189	△259	—
増 減 率	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 2 月 期第 2 四半期)	4,260	△464	△451	△401	△11 円 59 銭

(注)平成 21 年 9 月 17 日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において、売上高のみを修正開示しております。

### (2) 差異理由

1.(2)の連結業績予想修正と同様の理由によるものであります。

### (3) 通期(平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	4,531	△969	△949	△1,000	△29 円 73 銭
今回修正(B)	2,461	△2,077	△2,030	△2,414	△71 円 77 銭
増減額(B-A)	△2,070	△1,107	△1,081	△1,413	—
増 減 率	△45.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 2 月 期)	7,299	△1,110	△1,126	△1,345	△39 円 29 銭

### (4) 修正理由

1.(4)の連結業績予想修正と同様の理由によるものであります。

### ・免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

以 上